



卓 話



「天からの宿題2012・ 壬辰六白金星歳の考察」

東京ワセダRC会員 源 真里会員

—2012年は壬辰六白金星の歳—
天の気「十干」と、地の気「十二支」が交錯して織り上げた下地（ベース）の上に、人の気「九星」が模様を描き上げて来年の歳運を象る。



天の気…十干は壬（みずのえ）

地の気…十二支は辰（たつ）

人の気…九星は六白金星（ろっぱくきんせい）

『来年の天干…壬（みずのえ=水の兄）』

①十干の9番目の「壬」

五行は水・陰陽は陽・方位は北・季節は初冬・時間は夜・味は鹹味。

②妊（はらむ）問題を抱える。抱えた問題が大きくなる。

③任（役目に就く・荷う・事にあたる・責任を持つ）

④人あたりがよい。うまくへつらう。

⑤たたきだい（鍛冶する台）

★壬年の行動指針（上にあつては…）

智慧を廻らせ！問題から逃げず真摯に対応！人の意見は傾聴！任命する方もされる方も責任重大！言うだけ番長に注意！

『今年の年支…辰（たつ）』

①十二支の五番目としての「辰」

陰陽は「陰」。五行は「土」に属す。月は4月（旧3月）。季節は季春。

一日の時間では午前6時から午前8時の間。方位は東南。

※辰の「土」は、春から夏にかけての土用を含む「土」。

「土用」は「変質」させる作用。「+」に働けば発酵、「-」に働けば腐敗。

②「辰」の字義…共通項は「動く・生じる」【象形】：蟹（おおはまぐり）が足を出して動いている象（殻を固く閉じていた貝が陽気につれて殻を開け中身を出して動く象）

【説文】：「震うなり。三月（旧暦）、陽気動き、雷電振う民の農時なり。物皆生ず。」 厂を崖（障害物）とみて、手で崖石を動かして進むとの説もある。

③『消長卦で現すと「沢天夬」』

★辰年の行動指針（下にあつては）

キーワードは突破力！困難を乗り越えて進め！変えるべきは（良く）変える！

『ベースとしての壬辰の歳』

下の地の気（辰）は障害を乗り越えようと頑張る。上の天の気（壬）の「存在の仕方」如何で成否が分かれる。「大地」の必用とするところに的確に水（カネ・モノ・ヒト・チエ）が行き届けば豊かな実りが期待できる。そのためには、貯水池や水路（制度やシステム）を造って、必用なところに水を引く（行き届かせる）ための工夫が必要だが…。「一流の国民」は健在。「三流の政府」はどうにかなるのか…アテには出来ない…？

『六白金星…六白金星は権威と責任、正義と戦いの星』

六白の定位は乾宮…乾は天…天行は健也。五行は金・陰陽は陽・方位は西北（戌&亥）。月は10月&11月。季節は晩秋～初冬。時間は19時～23時。味は辛味。

六白金星は、天・円・完成・高い・大きい・強い・充実・リーダー・統治・権力・責任・義務・資本・軍隊動いて止まず・強さ・戦いなどの象意をもつ。

国家や機構、リーダーの在り方と質が問われる…各企業の組織やトップも同様。大きな「権力、権威、力」が目目され、その存在の「在り方」を問直される。

※来年は特に、そのマイナス面が目立つ…攻撃され、古傷が疼く恐れ。

六白は天行（大自然の理）そのものをあらわす。規則、規制、法律、など各種ルールも注目され、その不備欠陥が目立つ傾向。

★六白金星歳の行動指針

※六白の年には、高く、大きく、正しく、強い姿勢が必要！多くの障害や理不尽な抵抗・妨害を乗り越え、辛抱強く行動して突破せよ！

※リーダーの在り方、質を問われ、リーダーの出来如何で良くも悪くも転がる。特にリーダーには、（志が）高く（度量が）大きく、正しく（公正）、（責任感が）強い、姿勢と不屈の精神力で辛抱強く闘い抜く行動力が求められる。

※情報選択力、交渉力、バランス感覚、優先順位の決め方がポイントに！